

さよなら原発！ さよなら空母！

プラトニウムフリーコミュニケーション神奈川

2013年7月4日 第8号

福島 六カ所 未来への伝言 上映会 & 島田恵監督講演会へのご協力 ありがとうございます

ストッププラトニウム神奈川連絡会 共同代表 飯川 賢

5月14日にスペースオルタで行いました「『福島 六カ所 未来への伝言』上映会 & 島田恵監督講演会」に多数の方においでいただき、また、上映会の運営を助けていただき、ありがとうございます。主催したストッププラトニウム神奈川連絡会として、感謝を申し上げます。

この「福島 六カ所 未来への伝言」を作った島田監督は、六ヶ所村に結局、12年ほど住みつづけ、その間にできたさまざまな人とのつながりなどから核燃料サイクル基地の問題に切り込んでいった方でした。映画を御覧いただいた多くの方には、単に原子力発電や核燃料サイクルの危険性だけでなく、改めて、原子力発電所にまつわる様々な社会システムがいかにか人の心を蝕んでいくのかも伝わってきたのではないかと思います。これまでは写真家として活動

していて、映画としては初めての作品ということでしたが、すばらしい映画だったと思います。ご覧いただいた方たちの感想からも、多くの方に様々な思いを伝えた映画であったと改めて感じています。

今回は、同じ日に行くつかのイベントが重なり、おいでいただく方が少ないことを心配していました。しかし、多くの方においでいただくことができたため、上映時にいただいたチケット代と会場で集めたカンパを合わせて、「未来の福島こども基金」「福島ぽかぽかプロジェクト」「長瀬やなせ“カラッポのおうち”の会」「福島子ども・こらっせ神奈川」「いわき放射能市民測定室たらちね」にカンパを送ることにいたしました。

(開催日) 2013年5月14日(火)

(会場) スペースオルタ@新横浜

(時間)

第1回 上映 pm.1:45~3:30

監督講演 pm.3:30~4:00

第2回 上映 pm.6:30~8:15

監督講演 pm.8:15~8:45

(入場者数)

第1回 79人 第2回 49人

(福島支援カンパ) 5団体合計

104,700円

さて、ストッププラトニウム神奈川連絡会では活動の一環として、今回のような映画の上映会のほかにも、脱原発社会の実現を目指して、様々な取り組みを進めています。

東日本大震災による福島の問題、特に放射能汚染に対してどのように対処すべきかも大きな問題です。原子力空母が母港として配備されている横須賀を抱える神奈川として、その母港化の撤回を求めるとともに、モニタリング体制の拡充や、市民参加型の防

災害避難などの訓練の実施も求めてきています。ほかにも核燃料輸送の問題、県内の実験用原子炉の問題などとともに、チェルノブイリの支援につい

ても継続的に取り組んでいます。

私たち、ストッププルトニウム神奈川連絡会では、これからも、脱原発社会の実現

を目指し、活動を続けていきます。

今後とも、ご支援、ご協力をよろしくお願いします。



「福島被災地フィールドワーク」～放射線測定結果から思うこと～

2013年6月8日～9日、再処理とめたい！首都圏市民のつどいの「福島被災地フィールドワーク」に参加しました。空間放射線を測定しながら移動して感じたことを報告します。

* 測定器は堀場製作所のRadi、測定値の単位は $\mu\text{Sv/h}$ (マイクロシーベルト毎時)

マイクロバスの走行中に車中で測ると、東京都内首都高走行中は0.06 三郷料金所辺り0.124 流山辺り0.164 友部パーキング近辺走行中0.065 友部パーキング下車0.121 その後はいわき市まで常磐道は0.07 から0.1位を上がったたり下がったりでした。

いわき中央料金所で一般道へおり0.07くらいでしたが、今回の案内をお世話くださった方々のいわき市内の事務所の庭を計ってみる



と $1.8\mu\text{Sv}$ で最初の衝撃を受けました。

いわきから楢葉町への移動中のバス車内からの測定値はJピレッジ近く0.431 0.621 とドンドン値は上がりこれで外にでたらどのくらいの値かと思われました。



除染したものの一時置き場では地上5cmで3.56くらいあり、除染した土や枝などが詰め込まれたフレコンパックでは1.581 が袋から20センチの距離でも測定されました。

こんなに高い放射線値をみてしまうと



その後はしばらく充分高い測定値なのになんか平気平気という気分になってしまいました。

宿泊した宿はかなりいわき市内から南にある温泉宿でしたが、0.09位でした。

美空ひばりの歌で知られる塩屋崎灯台の土産物屋の店先で0.26の数字を見たお店の方が「アラーここは高いのね。私のうちはこの近くだけど0.17くらいだよ」と驚いておられました。

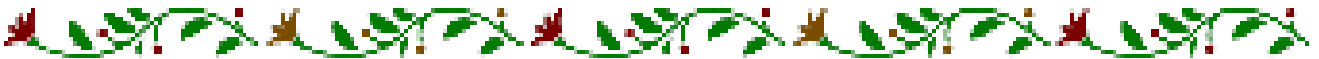
失礼ながら私と同じような普通のおばさんが自宅の放射線値をご存知なことで、0.17は低くないのにやっぱりそれが基準になるのだと妙な感慨をもちました。ちなみにここではもう少し測ってみたら0.385まで上がりました。

楢葉町では除染作業があちこちでおこなわれていましたが、決して放射線量は低くないし作業する人もマスクくらいでそんなに装備をしているようには見受けられませんでした。

一時帰宅で荷物を取りに来たり出入りしているとなんだか風景は事故前と少し

も変わらないので、放射線が高いのだと緊張を保つのは強い意志がいるなあと、すぐ流される私は思いました。

政府もこれをねらっているのかもです。(N.Y.)



福島ツアー報告～南相馬市小高地区、飯館村、浪江町

6月8日(土)、9(日)の2日間、小グループのツアーで、事故から2年3カ月後の福島を見てきた。案内して下さったのは、peach heartの二人の女性と、三人の男性。非常に内容の濃い2日間だったが、以下は、特に心打たれた部分の報告。

相馬野馬追で知られた南相馬市小高地区(20キ口圏内)

ここは、地震、津波、そして最後に福島第一原発の爆発で、筆舌に尽くしがたい苦難を嘗めた土地だ。海岸に近い低地は、家の土台を残し、ことごとく流されている。中でも、同行のSさんの実家跡を現実に教えて頂いた時の衝撃は忘れられない。彼女のお母さんは一人暮らしをしていて、津波の予告で近所の人たちと会館に避難し、そこも危険だからと、急な坂を上って高台に避難した。直後に津波が到来、すべてを奪い去ったという。文字通り九死に一生だったわけだ。まだ行方不明の人も多く、とくに、原発爆発によって放置されたという無念さがたまらない。

までの村、飯館村

村役場のモニタリングポストは0,58 μ □/h。自衛隊が、敷石まではがして徹底除染し金属板の上に設置してある。バスから降りて歩いたところは、10以上あり、神社の雨どいの下は、21,55 μ □/hだった。本当に美しい山や川、そして大きな民家。除染のモデル事業で10億円かけ

たというが、村民の大部分は不信感を隠さない。「食いものにされている」「行政は何もしてくれない」と考えているようだ。いたるところに廃棄物の山、山、山。

実態を報告してくれたS君は、先が全く見えない苦しさを伝え、中でもコミュニティの崩壊が一番大きいという。S君は、シャキッとして厳しかったおばあちゃんが急に痴呆気味になり今は施設で暮らしていることに触れ、次のように伝えてくれた。

「僕は、携帯で撮ったこの秋の紅葉をおばあちゃんに見せてあげた。スマートフォンを知らないおばあちゃんは目を大きく開きながらじっと見つめてうっすら笑みを浮かべうなずいてまた外を眺めた。ふとおばあちゃんの見線から外や天井を見た。白に黒い模様の天井、窓の外は高いコンクリートの壁、薄暗い電気、空も見えない。悔しさがわきあがってきた。」

浪江町「希望の牧場」

警戒区域内で見捨てられた命の惨状は、一部では報道されていたが、実際に、「希望の牧場」の吉沢さんからお話を聞き、写真を見せられて、もう、人間の

罪深さがやりきれなかった。人も命、動物も命。

吉沢さんは、お父さんから譲り受けた、原発の北西14kmの土地に、約300頭の和牛を飼っていた。3月14日には、3号機の爆発音を聞き、キノコ雲を見たという。周囲の畜産農家がとにかく避難を優先する中、餌、水やりを続け、救助した牛を加えて、現在は約350頭の牛を放牧している。毎時3 μ □の中。以前から原発反対の活動をしていた吉沢さんは、政府、東電の情報隠しと棄民政策に怒り、殺処分指示に我慢できず、ガソリンをかき集め、「決死救命、団結」を掲げて東京に乗り込んだ。東電、保安院、首相官邸などで惨状を叫び抗議したという。吉沢さんの言葉ひとつひとつは、実体験を基に胸の底、腹の底から絞り出されるものばかり。遠くで、生半可な生活をしている私の胸に深く突き刺さった。第二次大戦で、満州から命からがら引き揚げたご両親の体験を振り返り、今回の政策は全く同じ棄民政策だという。詳しくは「原発一揆」(針谷勉著)をどうぞ。「一揆」は可能です。とにかく闘いを続ける以外ない。「連帯」は手ごたえあり!」と

いうカブよい言葉で結ばれた。
奮い立たされた。

いい巡検だった。

さいごに、案内や説明を引き
受けてくださったのが、20代か

ら30代の若者だったこと、うち
2人は女性だったことが非常に
気にかかった。彼ら、彼女らは、
自身の被曝のことを十分知りつ
くしての活動だという。「もっ
と若い人たちにこれを伝えるの

が自分の役割だと思う」という
覚悟に、首都圏の一員として何
と答えたらよいのだろう？
(I . S .)



脱原発かながわ勝手連宣言!!!

「脱原発かながわ勝手連」は次の候補者に注目します。

参議院神奈川選挙区：「つゆき順一」さん、
参議院全国比例区：「井戸川克隆」さん、「大野た
くお」さん、「谷岡くにこ」さん、「山シロ博治」
さん(50音順)。

ご賛同頂ける方はホームページの登録フォームより「賛同
登録」をお願い致します。 <http://611kanagawa.org/>

情報を共有し合い、行動を共にしていきましょう!!!

【うたえ!!参院選川柳】

孫崎享さん&宇都宮健児さん&三上湖西市長&前泊博盛さん
&ゼロノミクマ君が特別審査委員

【皆さんの作品・投稿はこちらから】

<http://611kanagawa.org/>

脱原発政治連盟 「緑茶会」に注目!

あなたの力で政治を変える
全く新しい方法です!

- ✓ 棄権すると言われても
選択肢がない!
- ✓ 誰に投票しても裏切られ
てきた!
- ✓ もう政治になんか期待で
きない!

そんな人は、緑茶会推薦候
補の一覧を見て、彼らを応
援して下さい!

原発ゼロを目指す緑茶会は
「脱原発」を目指す市民の
選択肢を提示します。
緑茶会は政党ではありません。

「脱原発を実現してくれる
政治家」を応援する政治団
体です。

<http://ryokuchakai.com/>



同封の緑茶会通信をご覧ください。

プルトニウムフリーコミュニケーション神奈川 定例会のお知らせ

日時 9月3日(火) 午前11時~午後2時

場所 神奈川県民活動サポートセンター 707号室
アクセス: 横浜駅西口ヨドバシカメラ裏

プルトニウムフリーコミュニケーション神奈川

〒221-0002 神奈川県横浜市神奈川区大口通 83-2-213 (水沢気付)

Tel&Fax.045-423-0341 pu-free-com@k.nifty.jp
<http://pu-free-com-kana.cocolog-nifty.com/blog/>